

林いさお通信



ブログ：http://pikaichino.exblog.jp/ Tel 049-259-2228 共に!!
討議資料 No. 85 春の息吹 24年4月24日号林いさお後援会

★放射線量を測定し除染作業を実施

町の対応方針に基づき、周辺より高いと予想される雨どいの下や雨水が集まりやすい場所で、地表から5cmの高さの空間線量を測定しました。町内99施設の公共施設等の放射線量を測定した結果、22施設で町の対策目標値0.23マイクロ



厚手のビニール袋に入れ、ビニールシートで覆い埋設

シーベルトを超える箇所が32箇所ありました。これらの箇所を除染等の対応を行った結果、全ての施設で対策目標値以下になりました(3月末完了)。

除去した土壌などは、厚手のビニール袋に入れ、ブルーシートで覆ったうえ、子ども達が立ち寄らない場所に埋設しました。(写真参照)

今後測定を定期的に実施し、安心・安全の確保を図っていきます。また、放射線に関する情報は、ホームページや広報みよし、さらには保育所、学校等関係機関を通して提供させていただいています。が、わかりやすく速やかな情報提供に努めて参ります。

『あきらめない』

村木厚子



郵便不正事件で虚偽公文書作成容疑等で逮捕・起訴されるが無罪確定し職場復帰し検察のかかえる問題を提起。男女共同参画推進会議の委員さんが村木さんと同僚だったそうです。「うれしいことも、つらいことも、起ることはすべて無駄じゃない。どんなことが起っても必ずリカバリーできます。平凡な私でもできたのですから、あなたなら大丈夫です。」いつか講師でお招きしたいですね。

武蔵野の雑木林と春の息吹

3月24日から5月20日(日)まで、三芳町歴史民俗資料館・埼玉県立自然博物館共催により、「武蔵野の雑木林と春の息吹」と題して、雑木林に棲息する植物や鳥、動物、昆虫などの生物多様性について紹介しています。



武蔵野の写真撮影家 東松友一氏と共に

新緑が目には鮮やかな季節となりました。日本の里100選に選ばれた「三富新田」は、萌えいずる木々の緑によって、年間を通して最も眩しく生命溢れる輝く季節を迎えています。武蔵野の雑木林は、武蔵野の畑作農業を維持・発展させるためになくてはならないものです。堆肥としての落ち葉、燃料としての薪などを得る他に、防風・保水・建築材の確保など、武蔵野の畑作農業を支えてきました。そればかりではなく、雑木林は多くの植物や鳥、動物、昆虫にとっても大事な生息の場となってきました。

今回の企画展では、武蔵野の雑木林の成り立ちから始まり、雑木林と開拓地の農業との密接な関係、雑木林を維持・管理することによって育まれた生物多様性について紹介しています。オオタカやヤマドリ、キジ、ニホンアナグマ、ホンドキツネなどの剥製をはじめ、植物・昆虫の標本も数多く展示しています。

資料館から歩いて行くことのできる「こぶしの里」も、暖かな日差しが降り注ぎ、様々な山野草が咲きはじめています。ゆったりとした春の一日を資料館で過ごしてみたいかがでしょうか。※問い合わせ先

電話 049(2598)6955